

今月のテーマ

予防接種



予防接種とは、病気に対する免疫をつけるために弱めた病原体などを投与することです。
免疫をつける種をワクチンといいます。
予防接種は感染症の発生・流行の予防ができ、『個人を守る』と『社会を守る』の2つの役割があると考えられています。

☑ 予防接種には、法律に基づいて市町村が主体となって実施する「定期接種」と希望者が各自で受ける「任意接種」があります。

定期接種

国や自治体が乳幼児等に接種を強くすすめているワクチンで、接種を受ける側にとっては経済的負担の少ないものとなっています。

- Hibワクチン(細菌性髄膜炎、咽頭蓋炎など)
- 小児用肺炎球菌ワクチン(細菌性髄膜炎、敗血症、肺炎など)
- B型肝炎ワクチン(B型肝炎)
- 4種混合ワクチン(ジフテリア、百日咳、破傷風、ポリオ)
- MRワクチン(麻しん、風しん)
- 水痘ワクチン(水疱瘡)
- 日本脳炎ワクチン(日本脳炎)
- HPV〔ヒトパピローマ〕ワクチン(子宮頸がん)
- BCG(結核)
- 成人用肺炎球菌ワクチン(成人の肺炎球菌感染症)



また65歳以上で今まで成人用肺炎球菌ワクチンを接種したことがない方を対象に1人1回、定期接種の機会を設けています。対象の方が公費助成で受けられるのは該当する年度の1年間に限られますので、希望される方は自治体に確認の上、期間内に受けてください。

任意接種

健康保険は適用されませんので、基本的に費用は自己負担となります。しかし、自治体によっては接種費用の助成が受けられるところもありますので、お住いの自治体に確認してみてください。

- ロタウイルスワクチン（感染性胃腸炎）
- おたふくかぜワクチン（おたふくかぜ）
- インフルエンザワクチン（インフルエンザ） など



子供の頃に予防接種を受けていても、「はしか」「風しん」「日本脳炎」「百日咳」などは成人になるまでには免疫が弱くなることがわかっています。また、日本での予防接種の制度は時々変わることがあるため、年代によって定期接種でも受けていない場合があります。

「麻しん」や「風しん」は、妊婦さんがかかると胎児に先天性の障害が残る可能性もあります。それらは個々の状況により異なりますが、大人でも免疫がなければかかってしまう病気です。免疫がないことが確認できた場合は、任意接種となりますが、予防接種を検討したほうがよいでしょう。

「インフルエンザ」の予防接種も感染する確率を少しでも下げることと、重症化を予防するために接種をおすすめします。

海外へ行く場合は、渡航先の事情にあわせた予防接種を受けた方がよいでしょう。

※予防接種には免疫ができる以外の反応（例えば発熱や腫れ）の副反応が起こることがあるため、接種前に確認しておきましょう。また、体調の悪い場合は接種をさげましょう。

高熱やけいれんなどの症状があらわれた場合や症状が治まらない場合には速やかにかかりつけ医に連絡し、診察を受けるようにしましょう。

お薬や介護についてわからないことや、気がかりなことがありましたら、
お気軽にお尋ねください。

担当 みやこ薬局 山科店



<https://www.miyako-ph.co.jp>

みやこ薬局

本店・山科店・薬大前店・マツヤスーパー店・北山店・紫竹店・大宮店・桂店